

# 審議した主な議案

## 令和2年度一般会計補正予算(第3回)

予算の概要は1面に掲載しています。

### 賛成討論(要旨)

宮下 誠(公明党)

産前産後のヘルパー利用の拡充や、タクシー券を含む子育て応援1万円商品券を贈るなど、育児に関する様々な悩みに対応する事業が組み込まれた。また、安定した住まいの確保を図るため、支給対象が拡大された住居確保給付金事業についても、第3回と第4回の補正予算に計上され、適切に対応されている。

## 令和2年度一般会計補正予算(第4回)

予算の概要は1面に掲載しています。

### 賛成討論(要旨)

村山ひでき(みらい)

市民交流センターの定員制限に伴い利用料金を減額する損失補償金、収入減少者への住居確保給付金、障がい福祉事業所・介護事業所への運営補助、医師会の献身的な協力で設置できたPCR検査センターへの補助金、ひとり親世帯への臨時特別給付金、学生対象の自転車駐車場定期利用料補助等を評価する。

### 賛成討論(要旨)

水谷たかこ(こがね)

賛成するが、次の点の改善を求める。市民交流センターに加え、集会施設も利用定員に比例した利用料とすること。障がい者福祉や介護の職員を先行するが、医療や保育等其他業種の職員に対しても、感謝を伝える配慮を。学生支援策は、駐輪場利用

料補助では不十分なため、他の支援策の検討等を求める。

### 賛成討論(要旨)

斎藤康夫(市民会議)

本議案は新型コロナ対策の予算である。全て必要な予算であるが、これだけでは不十分であり、国による財政出動が必要不可欠である。小金井市議会は国の第2次補正予算に向けて、国民を守るための「真水100兆円規模の財政出動」を求める意見書を既に可決している。以上、意見を付して賛成討論とする。

### 賛成討論(要旨)

片山 薫(市民力エール)

市民交流センターの定員に応じた利用料減額は必要。住居確保給付金の分かりやすい広報をひとり親家庭からの、行政に寄せられない声を、どう拾い適切に支援できるか、検討を深めるべき。今後は、委託事業の非正規労働者の休業補償、家賃や住宅ローンが払えない市民のセーフティネットの確保を求める。

## 教育用タブレット端末等の買入れについて

本件は、6月23日の本会議において上程されました。

主な内容は、指名競争入札により、教育用タブレット端末7千500台及び管理ソフトを買い入れ、市立小・中学校14校に納入するものです。

### 賛成討論(要旨)

同日の本会議では、委員会付託を省略し、起立採決の結果、起立多数により、可決しました。

### 賛成討論(要旨)

白井 亨(こがね)

児童・生徒一人1台のパソコン端末の整備という大きな改革である。学校が、多様な体験の場、人間関係構築の場として、一人ひとりがより良い学びとなるよう取り組んでほしい。また、教員のサポートを厚くし、保護者への説明を分かりやすくするなど、誰もが共通認識で捉えることができるよう要望する。

## 反対討論

水上洋志(日本共産党)

定数削減は、この間の議会改革、条例提案などの審査を通じて、議会として審査を尽くしてきた。「コロナ禍」の下で、市民生活支援に議会の権限の発揮が必要である。また、新型コロナの教訓をどう活かすのかなど新しい課題があり、多様な民意を反映する議会が必要であり、定数を削減すべきではない。

## 賛成討論

吹春やすたか(自民党・信頼)

市民生活はコロナ禍の影響を大きく受けている。「苦境に立つ市民」今ほど、この言葉の切実感を大きく感じる時があるだろうか。本請願書は感情的な要求ではなく具体的な定数削減による財源の活用を提案している。署名も増えていると聞く。小金井市議会は、重く受け止め、市民の声にこたえるべきである。

## 賛成討論

岸田正義(みらい)

定数削減は否定しないが、定数の根拠を作る努力を行うべき。そのための熟慮には全面的に協力するが、改正に当たっては市民意見を聴取すると定めた議会基本条例第21条に違反し、どのような議会を目指すかの議論がない等、従来からの指摘に対し紹介議員から特段の歩み寄りや提案もない現時点では反対する。

## 賛成討論

紀由紀子(公明党)

議員提出条例が10対13で否決され、請願書が提出された。厳しい財政状況やコロナ禍を考え2名削減の財源(年間約2千2百万円)は、市民生活の支えに活用とある。現定数を維持しなければ市民の負担にこたえられない根拠はない。議会が自ら身を切る改革が、市民からの信頼にこたえようと考え、賛成討論とする。

## 賛成討論

坂井えつ子(緑・つながる)

住民自治のための経費は、議会の責務として確保すべきであり、それでも更に財源が必要なら報酬を見直すべきである。議会の最高規範である議会基本条例には、「議員定数の改正は、市民意見を聴取した上で定める」とあるため、意見聴取を提案したが一致しなかった。議員は条例を遵守すべきである。

## 反対討論

渡辺大三(情報公開)

多摩地域の人口類似市4市を見ると、小金井市が24名で他の3市は22名である。2減は他市と同程度にするものである。市民意向調査でも「多い」と感じている市民が非常に多い。新型コロナウイルスの影響は3年から4年続くと考える。市民生活を支えるためにも、市議会としても一定の努力が求められる。

## 賛成討論

田頭祐子(生活者ネット)

議員定数については、第1回定例会で議員提案の条例案が否決された。議会の役割や報酬について市民と共に議論を深めてから定数についても議論すべき。困窮する多様な市民の声を反映するためには、多様な選出母体を持つ議員が必要で、新型コロナウイルス対策の財源にするためという理由は当たらない。

## 賛成討論

坂井えつ子(緑・つながる)

市民生活はコロナ禍の影響を大きく受けている。「苦境に立つ市民」今ほど、この言葉の切実感を大きく感じる時があるだろうか。本請願書は感情的な要求ではなく具体的な定数削減による財源の活用を提案している。署名も増えていると聞く。小金井市議会は、重く受け止め、市民の声にこたえるべきである。

## 賛成討論

渡辺大三(情報公開)

多摩地域の人口類似市4市を見ると、小金井市が24名で他の3市は22名である。2減は他市と同程度にするものである。市民意向調査でも「多い」と感じている市民が非常に多い。新型コロナウイルスの影響は3年から4年続くと考える。市民生活を支えるためにも、市議会としても一定の努力が求められる。

## 賛成討論

坂井えつ子(緑・つながる)

住民自治のための経費は、議会の責務として確保すべきであり、それでも更に財源が必要なら報酬を見直すべきである。議会の最高規範である議会基本条例には、「議員定数の改正は、市民意見を聴取した上で定める」とあるため、意見聴取を提案したが一致しなかった。議員は条例を遵守すべきである。

# 議案の審議結果

付託先略称 即：委員会付託を省略し本会議で採決  
総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会  
予：予算特別委員会

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)

議案内容	議決結果														付託先	議決結果		
	自	公	み	共	お	会	情	改	ネ	市	緑	坂井えつ子	片山 薫	田頭 祐子				
賛否が分かれたもの																		
小金井市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	総	原案可決
令和2年度小金井市一般会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	即	原案可決
教育用タブレット端末等の買入れについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	即	可決
小金井市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例(議員提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	即	原案可決
小金井市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例について委員会付託を省略し即決を求める動議(議員提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	即	可決
小金井市新型コロナウイルス感染症対策基金条例(議員提案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	即	原案可決
全会一致となったもの																		
小金井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、小金井市学童保育所条例の一部を改正する条例															厚	原案可決		
令和2年度小金井市一般会計補正予算(第3回)、令和2年度小金井市一般会計補正予算(第4回)															予	原案可決		
令和2年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)、小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例、令和2年7月に小金井市長、小金井市副市長及び小金井市教育長に支給する給料の特例に関する条例															即	原案可決		
小金井市総合体育館大規模改修工事(第2期)請負契約について、パススルー冷蔵庫等の買入れについて															即	可決		
監査委員の選任に関し同意を求めることについて、農業委員会委員の任命に関し同意を求めることについて(ほか13件)															即	同意		
専決処分報告及び承認について(令和2年度小金井市一般会計補正予算(第1回))、専決処分報告及び承認について(小金井市市税条例等の一部を改正する条例)、専決処分報告及び承認について(小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例)、小金井市子どもの権利に関する条例の一部を改正する条例の撤回(議員提案)															即	承認		
人権擁護委員候補者の推薦について															即	異議ない旨の意見提出		

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 公：小金井市議会公明党 み：みらいのこがね 共：日本共産党小金井市議団 お：小金井をおもしろくする会 会：こがね市民会議  
情：情報公開こがね 改：改革連合 ネ：生活者ネットワーク 市：市民といっしょにカエル 緑：緑・つながる小金井

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。